

# ワンパーセント イオン1%クラブ



自然や環境をテーマに、みんなで楽しく体験しながら学びます(イオンチアーズクラブ)

## イオンチアーズクラブ・メンバー募集中

- ◎どんな活動をしますか？  
「自然観察」「農業体験」などを通して、みんなで楽しみながら学びます。
- ◎どんな人たちが参加していますか？  
主に小学生です。
- ◎いつ、どこで活動していますか？  
学校が休みの日に、山、海、川、田んぼ、畑などで活動します。
- ◎お金はかかりますか？  
入会金・年会費はございません。

### イオンチアーズクラブご入会フォーム

入会をご希望の方は、こちらのコードをスマートフォン等で読み取り、新規登録フォームから申請をお願いします。  
<https://aeon1p.or.jp/aeoncheersclub/ja/register>



### お問合せ

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ  
1p@aeon.info ☎043-212-6023(平日10時~17時)



## 皆さまからのご寄付により、さらに充実した活動へ…

イオンワンパーセントクラブでは、子どもたちの教育や国際交流、地域文化の保全などの活動に取り組んでいます。

今後、私たちの活動内容をさらに充実させていくために、皆さまのご理解とご賛同をいただけましたら、ぜひご寄付をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

なお、当財団は、内閣総理大臣より「公益財団法人」としての認定を受けておりますので、当財団への寄付金に応じて所得税(個人)、法人税(法人)の控除が受けられます。当財団よりご寄付の領収証をお送りいたしますので、申告の際にご使用ください。

※個人の方が控除を受けるには、現在、年末調整をされている方でも確定申告が必要となります。詳しい内容につきましては、税務署にお尋ねになるか、国税庁のホームページでご確認ください。よろしくお願いいたします。

### ご寄付の方法

- 現金の銀行振込でのご寄付
- クレジットカードでのご寄付
- WAONポイントでのご寄付

こちらのコードまたは以下のURLより寄付受付画面にお進みいただき、ご寄付の方法をお選びください。  
<https://aeon1p.or.jp/1p/about/donation/>



### 編集後記

この4月より、編集を担当させていただくことになりました。本誌は2号目の刊行となり、まだスタートしたばかりですので、私もともに成長して行けるよう頑張ります。さまざまな活動の中で、目をキラキラさせて体験学習や発表を行う子どもたちの姿を、本誌を通じてみなさまにお届けいたします。今後とも「イオン1%クラブ」をよろしく願っています。(E.H)

ワンパーセント  
公益財団法人 **イオン1%クラブ**

発行元：公益財団法人イオンワンパーセントクラブ  
〒261-8515 千葉県美浜区中瀬1丁目5番地1  
☎043-212-6023 ✉1p@aeon.info



こちらのコードをスマートフォン等で読みとると当財団の活動の詳細をご覧いただけます。





手のひら認証に挑戦。

未来を担う子どもたちがお金について学び、考える。2023年2月、イオンクレジットサービス(株)の協力のもと、イオンモール福岡で近隣にお住まいのお子さまやイオンチアーズクラブのメンバーたちが参加して、お金の歴史やキャッシュレス決済の仕組みを体験する活動が実施されました。

キャッシュレスにすることによって、紙幣や硬貨の製造、輸送、流通にかかる負担を削減でき、環境に優しいこと。また現金に触れる必要がないため、衛生的です。お金を持ち歩くこともなくなり、安全・安心な決済方法であることも学びました。

子どもたちは、まず、お金の歴史と支払い方法の変遷について学びました。「クレジットカードと商品券はどっちが先に出来たのかな?」「信用貨幣(手形)って何だろう?」と次々と浮かんでくる疑問について一生懸命考える姿が見られました。キャッシュレスの体験コーナーでは、電子マネーの支払いをするお客さま役と、商品登録やレジ打ちをする店員役を交互に行いました。電子マネーの支払いが完了した時の得意げな表情や、楽しそうにレジ操作する子どもたちの姿が印象的でした。続けて、手のひらや顔といった生体情報を使った決済に挑戦。「やった! 認証されたよ!」日頃よりデジタル機器に慣れている子どもたちにとっても新鮮な体験だったようです。

くらしの中で必要不可欠な「お金」をテーマに企画された今回の活動は、子どもたちの好奇心がふくらむ、大変有意義な機会となりました。

# 「僕にもやらせて!」 未来に触れた瞬間 好奇心が沸き上がります



お金の歴史について学ぶ子どもたち。  
「昔は、いろいろなお金があったんだね」



「意外と重いぞ!」  
普段体験することのない  
貨幣の重量感にびっくり。



顔認証による決済を体験。

## イオンチアーズクラブは

自然や環境などに興味や関心を持ち、考える力を育む場として、小中学生を中心に、全国400店舗を拠点に体験学習を行っています。各クラブは「環境・社会」に関する独自のテーマに沿って活動を行い、1年間の成果を壁新聞に取りまとめています。

## イオンチアーズクラブご入会フォーム

イオンチアーズクラブに入会をご希望の方は、こちらのコードをスマートフォン等で読み取り、新規登録フォームから申請をお願いします。

<https://aeon1p.or.jp/aeoncheersclub/ja/register>





# イオンチアーズクラブ 壁新聞づくり

一年間の活動成果をまとめた壁新聞  
情報を整理し、伝達する力を磨く



1位になった「イオンチアーズクラブ橋本」の壁新聞。

## イオンチアーズクラブの壁新聞づくりは

メンバー同士が情報や知識の共有を行い、学んだ内容の定着化を図ることを目的に、一年間の活動成果を壁新聞として一枚の紙に取りまとめるものです。毎年2月から、9つのエリアで発表大会が行われ、上位に入賞したクラブは、全国大会に出場しています。

## イオンチアーズクラブ「ウエルシアつくば」が壁新聞づくりに初挑戦しました

2月11日、毎日小学生新聞編集長の木村葉子さんを講師に招き、記事の書き方や見出しの付け方、写真の選び方などを学んだ後、4チームに分かれて新聞づくりを開始。メンバー全員分の新聞を一枚の大きな模造紙上に貼り付けて、壁新聞を完成させ、ご家族の前で元気に発表を行いました。

子どもたちの確かな成長と豊かな可能性を肌で感じられた、大変実りある1日でした。



全国の子どもたちが  
切磋琢磨し合う夢の舞台  
3月5日、イオンリテール(株)南関東カンパニーに12クラブ、42名の子どもたちが集まり「イオンチアーズ

クラブ壁新聞審査会・南関東地区大会」が開催されました。テーマは「食」。食品ロスの削減や地物食材を使った料理体験、栄養素について、独自の視点で壁新聞にまとめられています。発表では、各クラブとも

プレゼンテーションの手法に工夫が凝らされており、日ごろの取り組みの成果が発揮された素晴らしい会となりました。

## 中学生作文コンクール

考えをまとめ、書く力を養う

優秀作品は新聞に掲載  
今年度のテーマは「環境」

金賞を受賞した10作品の全文が、「朝日中高生新聞(2023年2月12日発行)」誌面上に、掲載されました。掲載後には「親戚に新聞を配りました」など、受賞者から沢山のコメントが届きました。

今年度のテーマは「環境」。作文募集に関する詳細は、6月下旬にご案内させていただきます。皆さまの多数のご応募をお待ちしております。

【企画特報】 (第三編)朝日中高生新聞 2023年(令和5年)2月12日 16

公益財団法人 イオンワンパーセントクラブ

受賞おめでとうございます

金賞

相田 美桜 (長崎県 宇都宮南高等学校 1年)	池野 凌音 (福岡県 新宮南高等学校 2年)	市田 ありさ (愛知県 豊橋高等学校 2年)	宇佐美 梓弥 (愛知県 豊橋高等学校 2年)	黒川 海空 (長崎県 長崎南高等学校 2年)
五味田 郁徳 (東京都 西・白鳥中学校 2年)	富善 佑輝 (東京都 国立高等学校 2年)	高山 史子 (千葉県 船橋南高等学校 2年)	西山 莉夏 (北海道 札幌南高等学校 2年)	山村 隆文 (東京都 竹野南高等学校 2年)

銀賞

食の作文コンクール 表彰式

食べ物から考える地球温暖化

## 中学生作文コンクールは

中学生が、社会問題をテーマに自分自身の考えをまとめ、書く力を養うことを目的に、2003年から実施しています。金賞に選ばれた10名の中学生の皆さんを東京で行われる1泊2日の食育ツアーにご招待しています。さらに金賞の作品は、中学生向けの新聞にも掲載されます。



## アジアユースリーダーズ

国境を越え、多様な価値観を学ぶ

アジア ユースリーダーズはアジア各国の高校生が、グローバル感覚を養い、価値観の多様性を学ぶとともに、問題解決力や自発的な行動力を高めることを目的に、共通の社会問題について英語で議論するプログラムです。

## 8月下旬、東京都内で5日間の日程で開催予定

「アジア ユースリーダーズ」の今年度の活動として、食品の生産・流通・販売・消費などのサプライチェーンの観点から脱炭素社会の実現に向けた実施方法について議論するプログラムを予定しております。

インドネシア、カンボジア、タイ、中国、日本、ベトナム、マレーシア、ラオスのアジア8カ国の高校生たちが8月下旬に日本・東京に集まり、5日間の日程で開催されます。夏に行われる、環境を守るための熱い高校生たちの議論が今から楽しみです。



プレゼンテーションの様子。



# イオンスカラシップ修了式

日本と母国の架け橋を目指す  
アジア各国の大学生を応援



達成感と喜びの笑顔で記念撮影に臨む奨学生たち。日本と母国との架け橋となる日を夢みて。



奨学生代表によるお礼の挨拶。サープラサート・ナリンボンさん(左)。周潔鈺さん(中)。ドテフォンさん(右)。

## イオンスカラシップ(奨学金制度)は

アジアの大学生を対象に、日本と母国の架け橋となり活躍してほしいとの願いのもと実施しています。授業料と生活費を両方支給している他、奨学生同士の交流や宿泊研修カリキュラム、ボランティア活動などを行っています。



奨学生からの寄せ書き。

認定を受けた頃をスライドで振り返る。



「イオンスカラシップ」2022年度の認定終了を迎えた卒業生たち

行いました。

「経済的な心配が無く充実した学生生活を送ることができた。他の留学生との交流を通じて生まれた沢山の仲間との縁を今後も大切にしたいです」とナリンボンさん。また、武漢大学在籍時に当財団が主催する「日本語スピーチコンテスト」で優勝し、訪日研修で日本への留学を決意。日本で2年間工学の研究に没頭してきた周さんは「将来の夢は世界に通用するエンジニアになることです」と笑顔で抱負を語ります。一方、ドテフォンさんは「地域のボランティア活動に参加したことはとても貴重な体験。特に、植樹体験のセミナーを通して自身の環境保全意識が変わりました」と、感謝の言葉を述べていました。

修了生たちが近い将来、母国と日本との架け橋になって活躍してくれると信じています。

ちが2月17日、東京の会場に集まり、修了式が開催されました。修了生の進路は博士課程に進む方、日本の会社に就職する方、また母国で就職先を探す方など様々。3人の修了生代表が挨拶を行いました。



# 緊急災害復興支援

被災地の復興とさらなる発展を願って



羽田空港貨物ターミナルの中、現地へ運ばれる支援物資。



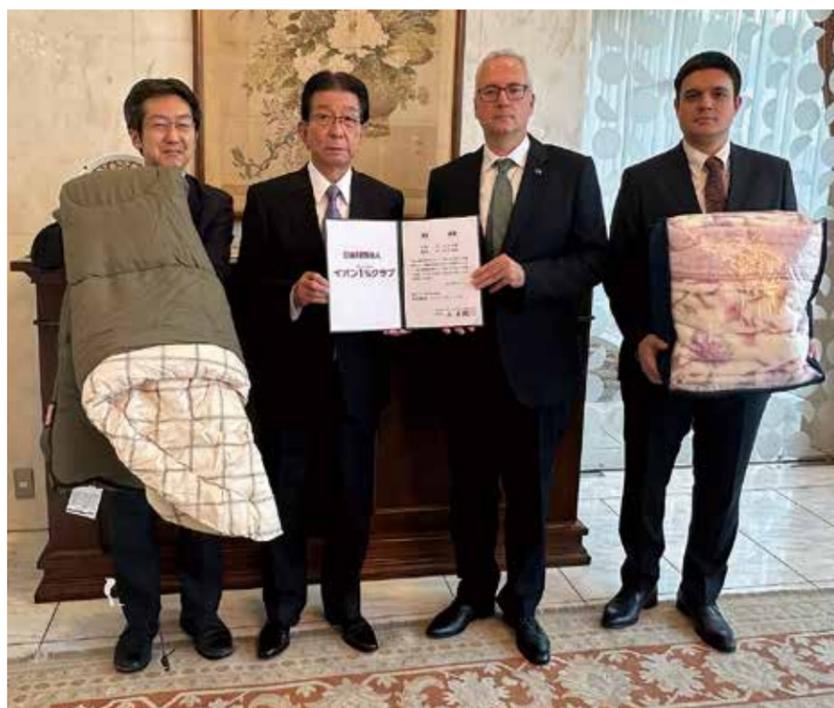
取引先などの協力を得て支援物資が集まる(左)。物資を積んだトラックが空港へ到着(右)。

## 緊急災害復興支援は

大規模災害により被災した方々が、日常の生活を一日でも早く取り戻せるよう、緊急支援金の贈呈などを行い、被災地の復旧・復興などを支援する活動です。

## 被災地への配慮を最優先 きめ細かな支援活動を展開

2月6日未明にトルコ南東部を中心に大規模な地震が発生しました。災害の初期段階では支援の迅速さが何より不可欠と考え、2月14日、駐日トルコ大使館において緊急災害支援金1,000万円の寄付を行いました。



支援物資の贈呈式。

大使から「現地では家を失った方々がテント生活を強いられ、夜間の厳しい寒さの中で眠ることができない」と伺い、被災地に毛布と寝袋を寄付することを決定しました。調達に際しては、取引先などの協力を得て、毛布6,000枚、寝袋2,000枚が集められ、3月23日朝から数回に分けて、航空便で被災地にお送りしました。